

着心地の良い中・高年者用ファンデーションの開発

製品科学課 中橋美幸

中央研究所 金丸亮二*

1. 緒言

現在市販されている女性用ファンデーションは、デザインや体型補正を重視したものが多く、体型・感覚が変化し身体機能が低下した中・高年を対象とする、着用快適性を重視した製品は少ない。そこで、快適性や機能性を重視した使い心地の良いファンデーションの開発を目的に検討を行った。本年度はブラジャーについて検討した。なお、本開発にあたっては、北陸エステアール協同組合の全面的な協力を得て実施した。

2. 中・高年者向けブラジャーの設計・試作

中・高年者を対象に、普段着用しているブラジャーの問題点についてインタビューしたところ、きつすぎる、締めつけが強い等の意見が最も多く、その対策として、大きいサイズを着用、あるいは無理して着けるという人がほとんどであった。そこで、ゆったりと着用でき、かつ体型補正効果や審美性のあるブラジャーを目標に、4タイプの設計・試作を行った。図1～5に試作したブラジャーと市販のブラジャーを示す。

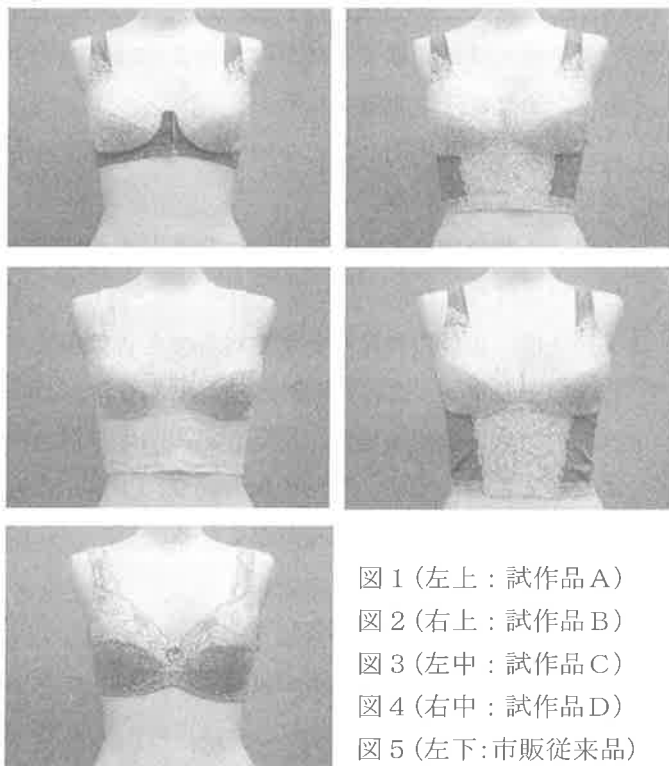


図1 (左上：試作品A)
図2 (右上：試作品B)
図3 (左中：試作品C)
図4 (右中：試作品D)
図5 (左下：市販従来品)

それぞれの特徴は以下のとおり。

*現 生活工学研究所

試作品A：ノンワイヤー、フロントホック

試作品B：ノンワイヤー、カップ台有短

試作品C：Bと同タイプ、素材の弾性強め

試作品D：ノンワイヤー、カップ台有長

市販従来品：ワイヤー有

試作品は、いずれもノンワイヤーにして、締めつけ力の緩和をはかっている。

3. 被験者実験

40歳代～70歳代の女性6名に、試作品と従来品を着用してもらい、被験者実験を行った。着心地については、主に主観評価により、体型補正効果については、人体計測装置を用いて評価を行った。

着心地については、全ての被験者が、試作品の方が締めつけ力が小さいと評価する結果となった。どれがよいかという問いに関しては好みが別れた。

体型補正効果は、トップバストの高さ(TB高さ)と、背中心から左右トップバストへの角度(TB角度)により評価した。その結果を表1に示す。

表1. TB高さおよびTB角度(6名平均)

	着用 なし	試作 A	試作 B	試作 C	試作 D	従来品
TB高さ(cm)	106.7	109.5	109.4	110.5	110.1	109.7
TB角度(deg)	41.7	38.8	36.1	38.0	37.0	37.5

体型補正効果は審美性と大きく関連するため、数値の大小だけで判断できないが、ここでは、TB高さは、着用なしと比べて高ければ、TB角度は、着用なしと比べて小さければ、補正効果が高いと考えてよい。

試作品は、いずれも従来品と同等の数値を示しており、補正効果は十分効果があると考えられる。しかしながら、A～D間の差はあまりなく、どれがよいかという判断がここではできなかった。

4. まとめ

試作したブラジャーは、いずれも締めつけ力が従来の一般的なブラジャーより低く、かつ体型補正効果もあることがわかった。しかし、体型や感覚など個人差による影響が大きく、今回の試験では試作品個々の分析までには至らなかった。今後は、より詳細なサンプル評価を実施し、試作品の改良をはかっていく。